

## 質問

以前に「全国がん登録」という取り組みが始まつたと聞きました。がん登録を行うことで、がん検診の効果が明らかとなつたのでしょうか。

## 検診の効果



森岡 久尚

徳島大大学院  
医歯薬学研究部  
公衆衛生学分野教授

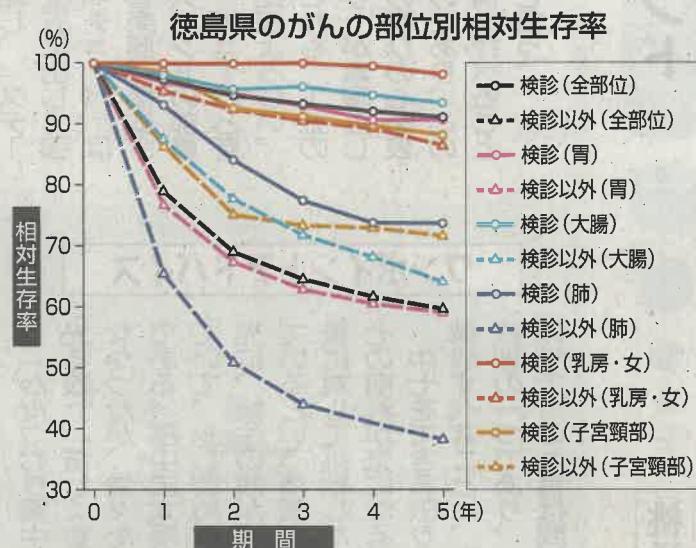
## 回答

全国がん登録は、がんと診断された全ての患者の情報を国でまとめて収集、分析して管理する仕組みです。「がん登録等の推進に関する法律」の成立に伴い、2016年に始まりました。それまでは、都道府県ごとに「地域がん登録」が行われていました。徳島県も1993年から取り組んでいましたが、現在は全国がん登録に移行しています。

がん登録によって、がんの罹患数や生存率などを正確に把握できるようになりました。がん対策を立案したり評価したりする上で、とても重要な制度です。

「質問のがん検診の効果に関して、徳島県の地域がん登録の情報を分析した結果を紹介します。2013～15年に登録さ

## 定期的な受診が重要



された症例で、全ての部位と自治体が一般的に実施している胃、大腸、肺、女性の乳房、子宮頸部の五つの部位のがんについて、5年相対生存率を算出しました。「相対」としているのは、簡単に言ふと、性別や年齢の違い、

がんが見つかった経緒について、人間ドックを含むがん検診で発見されたグループと、検診以外のグループに分けて比較しました。検診以外のグループは、自覚症状があつてがんが発見されたケ

がん以外での死亡の影響などを補正して分析したためです。



## がん何でもクイズ

現在、国が推奨する乳がんの検診方法はどれでしょうか。

- ①マンモグラフィー②乳房視触診③超音波検査

行こうよ！がん検診

い。厚生労働省が実施している国民生活基礎調査によると、徳島県内の自治体が実施しているがん検診の受診率は22年で約4割となっています。がん登録の結果から、がん検診の重要性を再認識するとともに、ぜひ定期的に受けるようにしてくださ

い。スと、他の疾患で通院中、偶然にがんが見つかったものを含みます。その結果、全ての部位と各部位において検診で発見されたグループの方が生存率が高いことが分かりました。《グラフ参照》。検診で発見されたグループは検診以外のグループに比べ、がんの進展度も発生した部位に限っている比率が高かつたのです。別の臓器や遠くのリンパ節への転移が比較的少ないことも分かりました。がん検診の受診が早期発見・治療につながり、生存率が向上していく可能性があることが示されました。



がんに関する質問は  
徳島がん対策センター  
電話 088 (634) 6442  
(平日午前 8時半から午後5時まで) へ。